

党愛知  
県議団

## 子ども食堂を視察 設置拡大へ課題探る



学習支援の様子を視察する党愛知県議団のメンバー（奥側6人）

公明党愛知県議団（渡会克明団長）は先ごろ、NPO法人「チームレスキュー」が同県尾張旭市の飲食店で開催している子ども食堂を視察した。県は今年度から子ども食堂の設置拡大のため、開設や運営を支援する

事業を進めている。一行は同法人の小野隆史専務理事から現場の課題などを聞いた。同法人は、全国各地で被災地の支援や子どもの学習支援を行っている。子ども食堂の開催日は毎週月曜日

と木曜日で、参加費は子ども50円、大人100円。午後6時から参加者に食事を振る舞うほか、その前後の時間帯で、ボランティアの大学生や元教員が宿題などの助言をする学習支援も実施している。

小野専務理事は「学習支援を受けた児童の成績が上がり、性格も明るくなった」と成果を紹介。一方で「困窮世帯の子どもたちに食堂の情報が十分に行き届かず、広報のやり方にとっても難しさを感じている」と話した。

視察後、渡会団長は「一つ一つの子どもの食堂で安定した運営ができるよう、課題の解決に努めていく」と語っていた。